



No. 604 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
価格 50円

兵庫版 No.489

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市
中央区元町通6丁目6-12
山本ビル 国民救援会内
TEL(078)351-0677
FAX(078)371-7376

衆院選(10/27投票)・県知事選(11/17投票)

激動の情勢の中、二つの政治戦の勝利と、 同盟要求を前進させる奮闘をしましよう

国政では、「政治と金」問題での国民の批判のなかで岸田文雄前首相は自民党総裁選に立候補せず政権を投げ出しました。石破茂氏が新総裁・首相に選出されました。が、自民党への統一協会の組織的関与、「政治と金」の徹底解明問題に背を向けるばかりか、日米安保体制の強化、憲法改悪に前のめりです。十分な議論の時間も取らず「手のひら返し」の衆議院の解散総選挙が10月15日公示、10月27日投票で行われます。

戦争できる国づくりと治安維持法体制の復活を許さず、国賠同盟の要求実現を前進させる議員が多数を占めることをめざし力を尽くしましょう。

また兵庫県政では、斎藤元彦前知事がパワーハラ、おねだり、補助金キックバツ疑惑などで県議会から全会一致で不信任決議され、失職による県知事選挙が10月31日告示、11月17日投票で行われます。すでに同盟県本部も参加する憲法県政の会はおおさわ芳清さん(医師)の擁立をすすめています。

自民・維新による県政のゆがみを正常化し、県民の声を聴き県職員の力が發揮しやすい県政実現に力をあわせましょう。



戦争できる国づくりと治安維持法体制の復活を許さず、国賠同盟の要求実現を前進させる議員が多数を占めることをめざし力を尽くしましょう。

県本部第43期 第2回幹事会報告

総選挙・県知事選挙を通じて、治安維持法弾圧の実態と 「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟運動を伝え、 要求実現にむけ政治変革をめざそう

第2回幹事会は9月14日開催されました。幹事会ではまず、中央本部が発行した「治安維持法とは何か—戦争する国にしないために」(学習テキスト)の読み上げ学習を行いました。また9月13日の中央本部常任理事会の方針を受け、治安維持法制定100年にあたる来年(2025年)に向けた署名、会員拡大などの運動、そして、予想される「総選挙」「兵庫県知事選挙」などの情勢に見合った運動について話し合いました。

で学習しました。各章ごとに音声データファイルがあり、パソコンで再生できます。県本部では、「学習テキスト」(500円)の普及活動とともに、これを各支部に配給し、支部での学習会などに活用する予定です。

【情勢の特徴】

9月は、立憲民主党の代表選、

【近畿ブロック交流会】

9月23～24日の近畿ブロック選挙が迫ってきました。兵庫県選挙が迫ってきました。兵庫県では斎藤元彦知事への不信任決議が全会一致で可決され、11月に県知事選挙という、激動の情勢が広がっています。知事選には、国賠同盟も加入する「憲法県政の会」から医師の大沢芳清さん

が立候補することが明らかになっています。

こうした状況を「政局」の問題として見るのはなく、アメリカの軍事戦略に巻き込まれ、戦力の弱さを露呈するスタイル

交流会には、兵庫県から22人、全体で60人規模の参加が予定されていました。開催地の地元県本部として、準備・運営に参加者、県幹事が大いに力を発揮しようと意思統一しました。

【各支部・地域での活動】

● 第3回幹事会は10月19日(土)午後1時30分から「あす

で自動読み上げソフトで音声を流し、それを聞きながら、各自が文章を默読するスタイル

争できる国となっている日本の進路、そして、莫大な軍事費の一方で、社会保障削減、高物価・消費不況に苦しむ国民生活にどう政治に何が求められているかの観点、国賠運動の要求実現の力となる政治変革への重要な機会となることを重視して、選挙戦に臨むことが必要となります。

10月～11月は総選挙、県知事選挙の意義を話し合い、知事選挙では「大沢芳清さん」が立候補していることなど話し合いましょう。

布・街頭署名、各地の「戦争展」などに積極的に参加し、累計400筆の署名に到達しました。9月には全会員に「署名用紙」と返送用封筒が届けられました。

【その他】

各支部では、早急に支部総会や支部役員会を開き、年間拡大、署名目標を決め、会員に署名や会員紹介の呼びかけを広げましょう。

治安維持法100年、2万同盟実現で謝罪と賠償に決着をつけよう



立県本部 副会長が
記念講演では石川康宏・
神戸女学 誉教授が
「自民党 大学名

2024年の近畿ブロック交流会は、9月23日～24日に神戸市で開催され、兵庫県から22人、全体で60人余が参加し熱心に活動を交流しました。冒頭あいさつで佐野彰義・中央本部副会長が「来年は治安維持法100年。学習テキストで治安維持法とは何だったのかを改めて学習を」と呼びかけ、高山

政治を終わらせるために」と題して講演。「統一協会やウラ金問題もあるが、日本が戦争する国にさせられようとしている事が一番の問題」とした上で「支持なし層の人たちに声が届いていますか」と問題提起しました。

つづくブロック会議は「治安維持法100年、2万同盟実現で謝罪と賠償に決着をつけよう」をメインテーマに討論。永島民雄・中央本部事務局長が

維持法100年の取り組みは中央で同盟と救援会、民医連、自由法曹団などで実行委員会が結成された。各府県・支部でも取り組みの具体化を「治安維持法公布日(4月22日)は全国一斉宣伝行動を」と呼びかけ、同盟建設では特別期間の結果として12人拡大の高山立さんが紹介されました。さらに「学習テキスト」の活用を呼びかけました。

来年は京都で開催予定です。

参加者の感想

大変有意義でした。

滋賀・藤田さんの経験で慰安婦問題など、植民地主義反対路線の学習会で同盟を紹介し拡大することは、可能かもしれないと思いました。

中央支部 横原友紀

各県下「問題点が共通の内容」であり、解決の方向では一定の意思統一が出来たかなと感じています。①若者を如何に組織に取り込むか?具体化することが大きな課題です。②「学習デキスト」を同盟員がまず読み、周りの人に広める(買っていただく)ことがいいと思います。組織拡大と結べば更にいいと思います。

この度、初めて一日目だけ

中央支部 渡部昌武

各府県からの報告では、京都「京都治安維持法研究会を立ち上げた」。大阪「学習テキスト200冊注文した」「毎月、各支部で2名ずつ増やしたい」。奈良

「100年行事実行委員会準備会を予定している」。兵庫「特高出身の歴代知事の権力犯罪を連載中」などの発言がありました。

2日目は、二つの分散会で討論のあと、最後に永島事務局長が「来年の治安維持法100年のため、前年である今年の運動が大事だ」とまとめを兼ねた閉会あいさつを行いました。

灘支部 青柿早苗

ごめんなさい。この段落は複数の文が混在しているため、意味が不明確です。元の文を以下に示します。

各県下「問題点が共通の内容」であり、解決の方向では一定の意思統一が出来たかなと感じています。①若者を如何に組織に取り込むか?具体化することが大きな課題です。②「学習デキスト」を同盟員がまず読み、周りの人に広める(買っていただく)ことがいいと思います。組織拡大と結べば更にいいと思います。

県議全員が不信任・失職による県知事選に

治維同盟も参加する「兵庫憲法県政の会」から

おおさわ

芳清 さん

よしきよ

信頼と安心。
県政 なにより いのち、暮らしを大切に

Change.

いますぐ
県政を正常化!



医師。1963年岸和田市生まれ、尼崎医療生協病院院長、兵庫県保険医協会理事、兵庫県民主医療機関連合会会長。県民の声を聞いていない兵庫県政を変える決心。座右の銘は「三方よし」「勝つことはあきらめないこと」

- ①県民の声を広く聞き、職員が力を發揮しやすい県政にします。
- ②県内の市町と話し合い、力を合わせる県政にします。
- ③男性のみだった副知事はジェンダー平等で選びます。
- ④「公益通報制度」を県庁の外につくります。
- ⑤ハラスメント研修と相談体制を充実させます。

「学習テキスト」で大いに学ぼう

中央本部

発行の「治安

維持法とは

何か一戦争

する国にし

ないために」による学習が全国に大きく

広がっています。テキストはA5判80ページのパンフレットです。一部500円（支部取扱いは卸値400円）です。

輪読では約一時間10分ほどかかりますが、各章に分けて読めるだけ読み進む活動も大阪などで進められています。各支部で学習会などを積極的に開催し、テキストの普及もはかりましょう。

【読み上げ音声ファイル】

こうした学習の補助として兵庫県本部は、テキストを読み上げる「音声ファイル」を作成しました。パソコンで再生すれば明瞭な音声で、読み上げられます。学習会では、各自が手元にパンフレットを持ち、読み上げに合わせて、黙ります。県本部はCDにして、各支部に配給する予定です。

治安維持法とは何か

(学習テキスト)



この学習テキストは、このように

権力犯罪 1974年 11月22日 八鹿高校事件

連載⑥
田中隆夫

(2) 権力犯罪の力ギを握る新たな2人
の登場——山口廣司・兵庫県副知事と公明
党兵庫県知事候補者・飯田忠雄

③陸上幕僚監部第2部別室とは? (つづき)

小谷賢日大危機管理学院教授は、『日本インテリジェンス史』(旧日本軍から公安、内調、NSCまで) (中公新書) やWEB上で以下のレポートをしている。

内務省の系譜に連なる警察官僚が公安インテリジェンス (情報・諜報) を担当。

外務官僚が外交インテリジェンス担当区分をつくり、政治的指導者に直接に繋がる情報機関の設置が模索され、吉田茂 (总理)、緒方竹虎 (官房長官)、村井順 (国家地方警察本部警備課長) など三人のトライアングルで中央情報機関の設置を突破した。

「そもそも陸上自衛隊の組合は、自衛官が勤務していた上、別室は組織上、陸上

織にもかかわらず陸海空の自衛官が勤務していた上、

初代の室長は前北海道警察本部警備部長、つまり警察

官僚が勤めており、その後も警察官僚で代々占めら

れていた。室長は内閣調査官も兼務しており、別室の予算も陸幕とは別枠だったため『陸上幕僚監部』に属するものの、実態は陸幕よりもむしろ内調と密接な関わり合いを持つ組織であった

しかし、通信傍受は多くの人員や施設が必要となり、小規模な内調にはそれを抱え込む余裕がなかった。そこで陸幕内に組織を設置し、そこでの得られる情報を内調に上げるという仕組みが作られたのである。歴代の陸幕長や防衛事務次官ですら別室については全くといってよいほど関与していかなかった。

資料隊や、在日米軍と連携し情報収集を行う特別勤務

そもそも陸上自衛隊の組織にもかかわらず陸海空の自衛官が勤務していた上、初代の室長で前北海道警察本部警備部長、つまり警察



八鹿高校事件を記録した映画「八鹿高校事件」(53分)は

↑こちらのQRコードか、「映画 八鹿高校事件」の検索で視聴できます



竹入義勝

官僚の山口廣司が務め、その後の室長も警察が占めることになる。(中略) 83年9月一日の大韓航空機墜落事件においても、別室の後継組織である陸上幕僚監部調査部第二課別室(調別)が再び注目を集めた。調別の稚内通信所分遣班は、ソ連防空軍の迎撃機スホーイ15と地上基地の交信を傍受し続けており、同日午前3時25分45秒にミサイル発射、その35秒後に目標が撃破されたというやり取りを鮮明に録音することに成功したのである。

竹入義勝は、この事件で功績を認められ、勤務場所は内閣調査室、内閣官房を経て、内閣情報機関として機能していた自衛隊機関、いわば内閣の諜報機関としてつぶられたことまで、内閣調査室、内閣官房を通じて国防会議が指揮命令をもつ真相を明らかにしていた。

(4) 1978年1月の山口廣司の死と新たな事実—竹入公明党委員長最後の見舞い

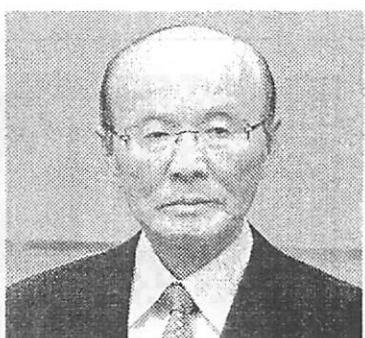
1975年6月持病の糖尿病・視力障害で県立尼崎病院に入院、勤務を続けるが、山口は、休日に家族と映画を見た後、倒れ、1978年1月に山口は亡くなります。驚くのは、亡くなる直前病院へ駆けつけたのは当時の公明党委員長竹入義勝でした。竹入が死に水を取ります。

山口が1965年警視庁総務部長の時、都議会で竹入との最初の出会い以来の長いつきあいだという。竹入義勝は、内閣調査官の併任者、勤務場所は内閣調査室。2部別室は内閣の中央情報機関として機能していた自衛隊機関、いわば内閣の諜報機関としてつぶされたことまで、内閣調査室、内閣官房を通じて国防会議が指揮命令をもつ真相を明らかにしていた。

1969年、山口の次女と結婚したのは杉田和博でした。杉田は、ほぼ一貫して警備公安畠を歩み、警備局長をへて内閣官房において内閣情報室長、内閣情報官、内閣危機管理監として政権中枢で公安と危機管理を行なった。2012年第2次安倍内閣で内閣官房副長官に就任。9年間政府の事務官トツプ、2017年8月内閣人事局長を初めて事務官として就任。2022年10月退任まで3205日在職であった。

葬儀への感謝の言葉は 義理の息子 杉田和博

日本学術会議の新会員任命拒否問題を巡り、杉田和博官房副長官が学術会議を所管する内閣府に対し、任命時に除外する候補者を伝達したことなどを示す公文書が存在するなど、国家安全保障局長を務めた北村滋氏らと共に公安畠出身の警察官僚が官邸内で権力を振るってきた先駆けとなつた人物です。それと共に、1979年1月山口廣司追悼遺稿集が発行されるが、一番驚いたのは、八鹿高校事件直前の兵庫県知事選挙に立候補した飯田忠雄神戸学院教授の遺稿集への登場でした。



杉田和博・元官房副長官